

**C** 男性にも「産む性」を持った女性のからだについて理解してほしいです。

**乳がん**

**C** 乳がんは自分で触ってみるのが簡単な検診方法で「しこり」をできるだけ小さいうちに見つける早期発見が大切です。

**A** ある日乳房に小さな「しこり」を感じて不安になり、病院へ行きましました。そこで詳しい説明もなく切除し、ましようと言われ、私も何の疑問もなく同意し、その場でしこりをとってしまった。落ち着いて考えてみると、検査もしないで切除するなんて変ですよ。結果的に乳がんではなかったのですが、もう少しよく調べたり、自分の考えを確認すればよかったです。

**E** 知人に39歳で乳がんで亡くなった人がいます。お子さんはまだ2歳でした。誰でも「自分は大丈夫」と思いがちですが、身近な人の病気を目の当たりにして、検診はきちんと受けなければと思いました。

**B** 幼い子どもがいると、つい自分のことは後回しになってしまいがちですが、もっと自分を大切にしたいですね。

**子宮がん**

**H** 子宮がんには体がんと言われ、頸がんの2種類があるんですよ。

**E** 子宮頸がんの原因の一つがウイルスによるものだということがわかり、ワクチンができて、予防接種費用の一部を市が助成してくれるそうですよ。

**A** 自分の子どもはまだ接種の対象年齢ではありませんが、今後のために、よく調べてみたいと思います。

**更年期**

**G** 一般的には閉経前後10年くらいといわれていますが、時期や症状にも個人差があるそうですね。

**H** 私も閉経前後10年くらい、頭痛、ほてり、のぼせに苦しみました。

**F** 私は更年期らしい症状があまりなく、仕事や家事をしてきました。

**D** 私は今、動悸、めまいの症状があり、いよいよ更年期かなと思っています。

**E** ホットフラッシュ※などだけでなく、髪の毛の張りがなくなったり、シミやしわが増えたり、卵巣から出るホルモン（エストロゲン）が減ることによって、高脂血症や動脈硬化、骨粗しょう

症も心配なので、食事のバランスに注意し、運動を心がけています。

**C** 更年期でからだや心が不調な時、パートナー、家族や周囲の理解があり、無理なく過ごせたら、少し楽になれそうですね。

**D** 今日は知識や体験を共有できてよかったと思います。

**G** 「自分だけではない」とわかって、すごく気持ち楽になりますね。

※ホットフラッシュ：顔のほてり、発汗などの症状  
(安達)

**本の紹介**

…女の子・男の子… 『思春期の性とからだの本』  
丸本百合子・村瀬幸浩著 学陽書房  
女の子、男の子のこことからだについて詳しく書かれています。また「思春期の子どもとどう向き合うか」について著者二人の対談も載っています。思春期の子どもを持つお母さん、お父さんにぜひ読んでほしい一冊です。  
(安達)



富士見産婦人科病院事件 私たちの30年のたたかい  
富士見産婦人科病院 被害者同盟・原告団【編】 一葉社  
1980(昭和55)年 埼玉県所沢市で発覚した事件。健康な子宮や卵巣が摘出されるという手術が7年も日常的に行われていました。被害者たちの30年のたたかいと、行動の軌跡と思いが書かれています。  
(小松)



※これらの本は男女共同参画センター(アイレック)で借りることができます。

**知っておこう！女性特有のがん**

**◆乳がん**

乳腺にできるがんです。日本人女性の約16人に1人が乳がんになると報告されています。

乳がんになる人は30歳代から増え、40歳から50歳までの比較的若い世代の人に多くなっています。乳がんは、早期に発見し治療すれば90%以上の人が治るといわれています。定期的な検診に加えて、自己触診の習慣をつけましょう。

**月に1回、乳がんの自己触診を**

**見てチェック**

鏡に向かい、よく観察します。次に腕を上げ、同じように見ます。



**触ってチェック**

指を揃え、「の」の字を書くように乳房全体・わきの下をゆっくり触ります。



・ひきつれ、くぼみはないか  
・大きさ、形に変化はないか